令和８年８月

各　位

一般社団法人　農業開発研修センター
会 長 理 事　増　　田　　佳　　昭
［公　　印　　省　　略］

令和８年度（通算第３３回）ＪＡ共済総合研究会の開催について

拝　啓　時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、標記の研究会を別紙要領のとおり開催します。当センターでは、地域農業の振興・活性化とＪＡの改革に貢献することを目的として、各種の研究会（研修会）を毎年開催しており、全国各地から多数の方々にご参集いただいております。

今年度の標記研究会は、ＪＡ共済をめぐる厳しい情勢変化のもと、地域に根ざした事業展開を柱とした共済事業戦略のあり方に焦点を当て、ＪＡの組織・事業基盤の強化と連動する共済事業の価値をめぐって、徹底討論します。

つきましては、貴団体・機関の関係者のご参加におきまして、格別のご配慮を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、ご希望があれば本要領とは別にメールでもご案内いたしますので、申し添えます。

敬　具

令和８年度（通算第３３回）

Ｊ Ａ共済総合研究会開催要領

主催：一般社団法人農業開発研修センター

≪趣　旨≫

わが国の保険業界をめぐる情勢をみると、長年の低金利環境からの変化により、生保は新規運用利回りの改善が期待されている一方で、既存の債券には評価損が発生しやすく、資産運用の見直しが重要な経営課題となっています。また、契約手続きのオンライン化、チャットボットによる顧客対応、ＡＩによる保険金査定など、デジタル技術の活用が急速に進むなど、金利環境の変化、デジタル化の進展を背景に大きな転換期を迎えています。その中にあって、企業組織を担う若年層の離職問題は大きな問題となり、生損保業界においても対応策に追われています。

一方、ＪＡ共済をめぐる情勢をみてみると、事業基盤である組合員や農村の高齢化が進み、新規契約の拡大が難しい環境下にあります。また、ＪＡ共済にあっても上述した生損保業界の課題を共通して抱えていますが、こうした状況にあるからこそ、いま正に、「協同組合としての役割」をどう発揮し、組合員・事業利用者に貢献することができるのか、極めて重要な今日的課題として、問われています。

そこで本研究会では、ＪＡ共済をめぐる厳しい情勢変化のもと、地域に根ざした事業展開を柱とした共済事業戦略のあり方に焦点を当て、ＪＡの組織・事業基盤強化を踏まえた共済事業の価値をめぐって、徹底討論します。

期　　間：令和８年１０月２１日（水）～２３日（金）

会　　場：京都ＪＡビル　２０１・２０２会議室（アクセス参照）

対　　象：①単位ＪＡの役職員
（金融共済担当常務(特に初任者)、本店共済担当部課長、支店長、ＬＡﾄﾚｰﾅｰ）
②ＪＡ幹部候補（中核人材研修の受講者、修了者など）
③ＪＡ共済連全国本部・都道府県本部、都道府県農協中央会・連合会の役職員
（ＪＡ部門管理層）
④その他、関連する農業団体・行政機関などの役職員

定　　員：７０名程度

参 加 費：（税込・一人当たり）

会　　員 <>内は、2名以上をまとめて申し込んだ場合の金額です。	５９，４００円＜５３，９００円＞
非　会　員 <>内は、2名以上をまとめて申し込んだ場合の金額です。	８９，１００円＜８０，３００円＞
会友（個人会員）に新規加入の場合 （令和８・９年度の会友会費7,500円を含む）	６１，９００円

注１：会員は、会員所属者および令和７年度以前からの会友（個人会員）の金額です。
注２：令和７年度以前からの会友（個人会員）の部分受講は、別途割引があります。

昼　　食：
２２日㈭に弁当（1,４００円（税込））を準備します。ご希望の方は、参加申込書からお申し込みください。

懇 談 会：

参加者と講師の交流の場とした懇談会を予定しています。ご希望を申込書へご記入ください。

と　　き：１０月２２日（木）　１７：３０～１９：００（９０分程度）

と こ ろ：ホテルエルシエント京都八条口１階　ＯＲＡＮＧＥ　ＴＥＲＲＡＣＥ

懇談会費：７，０００円（消費税込）　　**※ふるってのご参加をお待ちしています。**

申込方法：

①５ページの参加申込書をファックスで送信してください。

②受付完了通知をメールまたはファックスで送信しますので、参加費ならびにご希望の方は昼食代・懇談会費を下記の口座へお振り込みください。なお、振込手数料はご負担ください。

〈振込先〉

京都府信用農業協同組合連合会（京都信連）

本　　店　　当座　　口座番号：６３７３２９１

京都銀行　京都駅前支店　　普通　　口座番号：３１６４０７３

口座名義：一般社団法人農業開発研修センター（シヤ）（ノウギョウカイハツケンシュウセンター）

申込締切日：１０月１５日（木）　１７：００

当開催要領は、ホームページ（https://agridtc.or.jp）に掲載しています。

キャンセルポリシー：

お申し込み後のキャンセルはキャンセル料が発生しますのでご注意ください。

・１０月１５日（木）　　１７:００まで …… １０，０００円

・１０月１５日（木）　　１７:００以降 …… 全額

問い合わせ（申し込み）先：

一般社団法人農業開発研修センター　研究会受付係

〒６０１－８５８５　京都市南区東九条西山王町１（京都ＪＡビル）

ＴＥＬ：０７５－７４８－０７０３

ＦＡＸ：０７５－７４８－０８５５

E-mail：seminar@agridtc.or.jp

ＵＲＬ：https://agridtc.or.jp

アクセス：ＪＲ京都駅（八条口）より徒歩５分

（ＱＲコードもご参照ください）

日　程：

≪第１日目≫１０月２１日（水）

13:30～13:40　**開会あいさつ**　一般社団法人農業開発研修センター　会長理事　　増田　佳昭

13:40～13:50　**オリエンテーション**
一般社団法人長野県農協地域開発機構　研究所長　　小松　泰信　氏
（岡山大学名誉教授）

13:50～15:00　**報告Ⅰ　「ゆるい職場」時代の若手の育成方策を考える**
（うち質疑応答約10分）

リクルートワークス研究所　　主任研究員　　古　屋　星　斗　氏

○労働市場分析、労働需給推計、現場職研究、若手育成・キャリア形成研究を専門。経済産業省に入省し、産業人材政策、法案作成、福島の復興・避難者の生活支援、政府成長戦略策定に携わり2017年より現職。著書に『なぜ「若手を育てる」ことは今、こんなに難しいのかーゆるい職場時代の人材育成の科学』（日本経済新聞出版)、『ゆるい職場－若者の不安の知られざる理由』（中央公論新社）など多数執筆
○近年の日本の若年労働者（特に大学卒以上の正規雇用者）の早期離職に係る要因は何かー激変する労働市場全体の需給状況の整理・検討－
○「働きやすい職場」からなぜ若者は離れていくのかー若者と職場との新たな関係再構築のために必要なことは何かー

15:00～15:20　休　　憩

15:20～16:40　**報告Ⅱ　保険・共済理論の現在地と展望**
（うち質疑応答約10分）

東京経済大学　経営学部　　教　授　　石　田　成　則　氏

○専門分野は社会保障、福祉政策、企業福祉、保険。著書に『変貌する保険事業：インシュアテックと契約者利益』（中央経済社)、『ライフマネジメントにおける職域保障の役割』（週刊 社会保障)、『人生100年時代の生活保障論』（税務経理協会）など多数執筆
○現代の社会構造と保険需要の変化から見られるわが国の生命保険加入行動の特徴と問題点は何か
○保険・金融商品への加入増加に向け必要とされる今後の取り組み課題－年齢層や世帯構造から見た保険ニーズの現状把握と行動分析から見えてきたことー

≪第２日目≫１０月２２日（木）

9:30～10:50　**報告Ⅲ　共済事業におけるデジタルへの取組みと今後の展開方向**
（うち質疑応答約10分）　**－ＡＩ・ＤＸの取組状況を中心に－**

全国共済農業協同組合連合会　　参　事　　石　原　秀　紹　氏

○ＪＡ共済３か年計画（Ｒ７～９年度）中間年度における取組状況
○共済実務におけるＡＩ利活用の現在地について、技術進化とガバナンスの攻守両面から概括

10:50～11:10　休　　憩

シンポジウム「地域に根ざしたＪＡ共済事業のあり方
－ＪＡ共済における事業推進と人材育成を考えるー」

11:10～11:30　**座長解題**

一般社団法人日本協同組合連携機構
主席研究員　　西　井　賢　悟　氏

＜座長解題＞
○シンポジウムで議論したい論点と参加者に期待したいこと
○２つの実践報告の関連と意味付け

11:30～12:30　昼　　食

12:30～13:30　**実践報告①　わがＪＡの共済事業戦略**
－職場風土改革をはじめ総合力発揮を実現する改革の実践－

秋田県　秋田やまもと農業協同組合
代表理事専務　　大　鐘　和　弘　氏

○平成11年に誕生した２町を管内とするＪＡ。組合員総数6,942名（うち、正組合員3,497名）、貯金466億円、貸出金66億円、長期共済保有高1,283億円、販売品販売高158億円、購買品供給高37億円（令和７年度実績）
【第46回農協人文化賞受賞（信用事業部門）】
○職場風土改革として職員の退職要因の一つとなっていた一斉推進から2017年に個人ノルマを廃止
○助け合いのもと主体的に問題解決できる組織文化の醸成を目的とした組織変革の実践

13:30～13:40　休　　憩

13:40～14:40　**実践報告②　わがＪＡの共済事業戦略**
－組合員・地域住民とのつながり・接点強化をめざした改革の実践－

島根県農業協同組合
代表理事組合長　　竹　下　克　美　氏

○平成27年に誕生した県域ＪＡ。組合員総数200,726名（うち、正組合員52,577名）、貯金9,867億円、貸出金2,919億円、長期共済保有高25,480億円、販売品販売高417億円、購買品供給高295億円（令和７年度実績）
○県内在住の妊娠中の方々を対象とした出産・育児コミュニテイ「ＪＡしまねこども倶楽部」（平成28年度実施）、県内全市町村へ「ＪＡ共済オリジナル母子健康手帳ケース」の贈呈など子育て支援を通した地域とのつながり・次世代対策の実践
○組合員・地域住民との対面によるつながり・接点強化のためにデジタル技術の活用やＬＡ・複合渉外員・支店共済担当者を中心とした全職員による契約者フォロー活動（３Ｑ活動）を通じた接点づくりの展開

14:40～15:00　休　　憩

15:00～16:40　**討　　論**
（座　　長）前掲　　西　井　賢　悟　氏
（ｺﾒﾝﾃｰﾀｰ）全国共済農業協同組合連合会　京都府本部
本部長　　河原林　勝　利　氏
一般社団法人農業開発研修センター
常務理事　　瀬　津　　孝

17:30～19:00　懇 談 会

≪第３日目≫１０月２３日（金）

9:30～10:30　**報告Ⅳ　わがＪＡがめざすこれからの共済事業の展開と果たす役割**
（うち質疑応答約10分）

福岡県　福岡市農業協同組合
代表理事専務　　宗　　欣　孝　氏

○昭和37年に誕生した福岡市（一部除く）を管内とするＪＡ。組合員総数42,492名（うち、正組合員6,716名）、貯金4,727億円、貸出金2,510億円、長期共済保有高8,273億円、販売品販売高49億円、購買品供給高22億円（令和７年度実績）
○これからの共済事業の展開戦略と果たすべき役割は何か
○わがＪＡがＪＡ運営で大事にしてきたことと今後の戦略は

10:30～10:40　休　　憩

10:40～11:50　**報告Ⅴ　ＪＡ共済が果たすべき役割と今後の展望**
（うち質疑応答約10分）

一般社団法人長野県農協地域開発機構　研究所長
岡山大学名誉教授　　小　松　泰　信　氏

○共済事業が直面する基本問題と対応方向－「ＪＡ共済３か年計画」の課題－
○今こそ協同組合原則からＪＡ共済の基本課題を考える
○ＪＡ共済が果たすべき役割を再考する－ＪＡ共済の展開方向と課題－

11:50～12:00　**閉会あいさつ**　一般社団法人農業開発研修センター　常務理事　　瀬津　　孝

注）講師の都合等により、報告時間等に若干の変更がある場合があります。予めご了承ください。

農業開発研修センター　行き
〈ＦＡＸ：０７５－７４８－０８５５〉

令和８年度（通算第３３回）ＪＡ共済総合研究会参加申込書

〒　　ＴＥＬ　　ＦＡＸ

ご 住 所：

貴機関名：

ご記入者（部課名）　　（ふりがな お名前）

部課・役職名	参加者氏名（ふりがな）	会友同時加入（希望者は○）	昼食(弁当)（希望者は○）	懇談会（希望者は○）
〈 記 入 例 〉 普 及・企 画 課 長	けんしゅう たろう 研 修 太 郎	○	○	○

※受付完了通知と請求書をメールで送りますのでメールアドレスは必ずご記入いただきますようお願いいたします。

@

〈送 金 状 況〉
１．振込（予定）先 ‥‥‥ イ．京都信連　ロ．京都銀行（該当する記号に○印をつけてください）

２．振込（予定）日 ‥‥‥　　月　　日

注１）必要事項をご記入のうえ、ファックスで送信してください。
≪申し込み順に受け付けます。定員に達した時点で締め切り、受付できなかった方には連絡します。≫
２）ご記入いただいた情報は、研究会の受付事務、参加者に配布する名簿作成、以後の研究会の案内のために使用し、それ以外の目的で使用することはありません。

農業開発研修センターの調査診断・調査研究事業のご案内

一般社団法人農業開発研修センター

当センターでは、これまで数多くのＪＡグループなど、各機関・団体からのご要請（委託）を受け、調査診断（コンサルティング）に取り組んでまいりました。そこで、ＪＡが取り組んできた改革の実践と検証をはじめ、現場で悩まれておられる課題の解決に向けて、様々な事例を豊富に取り組んできた経験と実績がある当センターを今こそ、ぜひともご活用ください。

なお当センターでは、ＪＡの各種計画づくり、特に「地域農業振興計画」や「中期経営計画」の策定に際し、重要となる組合員の意向を把握するための各種アンケート調査の企画・集計・分析に限定した調査診断にも対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

当センターの調査研究・調査診断（コンサルティング）の特徴

■調査研究■　委託者から与えられたテーマへの有効な接近方法を工夫し、調査研究班を編成して、委託者の問題意識に明確に応える調査研究成果を実現します。

■調査診断■　的確な情勢分析と現状分析とを踏まえて、現状における問題の所在とその原因・背景の解明を行うとともに、委託者の問題意識と期待に応えられる新しい方向付けと有効な改善方策を具体的に提案・提言します。特に、「地域農業振興計画」やＪＡの「運営基本構想」・「中期経営計画」の見直しの助言・支援を得意としています。

取り組み過程では、当センターが蓄積してきた様々なノウハウを活用します。特に、アンケート調査とヒアリング調査を現状分析のための手法として重視しており、多様で有効な調査のノウハウを蓄積しています。

具体的な調査テーマ例

１．地域農業診断

○地域農業の問題点を明らかにしたうえで振興方向を見極め、取り組み課題を提示
○「地域農業振興計画」の見直しの助言・支援

２．ＪＡ調査診断

○現状分析で問題点を明らかにし、有用な情報提供と対応方策による助言・提案
○「基本構想」や「中期経営計画」見直しへの助言・支援

３．各テーマ別課題への助言・支援

○フルパッケージの計画策定の助言・支援とは別に、各分野に設定された個別重要課題・施策に対する助言・支援

４．相談受託

○管理職層やトップ層が抱えている悩みへの対応など期間を設定して、支援・アドバイス
○業務に関する企画・運営の継続的支援を目的に実施

申し込みと申込以降の取り組み手順について

①相談・申し込み(委託者⇒センター)	○どのようなことでも結構ですのでご連絡ください。
②打ち合わせ検討(委託者⇒センター)	○ヒアリングをさせていただきながら課題を設定します。
③「実施計画書」提案(委託者⇒センター)	○課題へのアプローチの方法や実施スケジュールなどを提示します。
④契約の締結(委託者⇒センター)	○ご契約内容について確認します。
⑤調査・診断の実施	○「実施計画書」を中心にご要望に併せて進めさせていただきます。

一般社団法人農業開発研修センター

令和８年度農業開発研修センター研究会開催一覧

※現地視察等については参加費とは別料金

7月 農協問題総合研究会（通算第55回）

【時　期　・　期　間】7/15（水）～17（金）　３日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（組合長・理事長、専務など）、企画担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補
【参　　加　　費】会員・会友：59,400円　　非会員：89,100円

ＪＡ関係者の意識改革と資質の向上を狙いとするとともに、今後のＪＡ運動の展開方向と展開条件を総合的に解明するため、先進ＪＡや専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

8月 地域農業振興に関する研究会（通算第50回）

【時　期　・　期　間】8/20（木）～21（金）　２日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（営農担当役員など）、営農経済担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、市町村議会・農政担当部署
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

地域農業振興計画立案・推進関係者の資質の向上を狙いとするとともに、地域農業振興・活性化の課題と対応方向を解明するため、先進事例や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

9月 農産物流通研究会（通算第57回）

【時　期　・　期　間】9/10（木）～11（金）　２日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（営農担当役員など）、営農経済担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ部会リーダー
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

農産物流通に関わる関係者の資質向上と課題解決力の強化に資するため、先進産地や流通業界の専門家等からの多彩な報告とシンポジウムを実施する。開催期間中に現地視察を予定。

10月 ＪＡ共済総合研究会（通算第33回）

【時　期　・　期　間】10/21（水）～23（金）　３日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（共済担当役員など）、共済担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補
【参　　加　　費】会員・会友：59,400円　　非会員：89,100円

ＪＡ運動とＪＡ経営の双方の視点からＪＡ共済の今日的課題を解明するとともに、今後の事業戦略確立の方向性を探るため、先進ＪＡや専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

11月 ＪＡの女性組織活性化に関する特別研究会

【時　期　・　期　間】11/19（木）～20（金）　２日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層、幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補、都道府県農協指導検査部署担当者
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

ＪＡの女性組織活性化のあり方について企画内容に力点を置き、事例報告や専門研究者等からの報告と重要課題をテーマにしたシンポジウム方式を採用して実施する。

1月 ＪＡの営農事業改革に関する研究会（通算第５回）

【時　期　・　期　間】1/21（木）～22（金）　２日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（営農担当役員など）、営農担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

地域農業振興・活性化の課題（地域農業振興計画の策定・実践を含む）の解明とＪＡの営農経済事業の改革方向を探るため、先進事例や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。開催期間中に現地視察を予定。

2月 ＪＡ金融問題研究会（通算第45回）

【時　期　・　期　間】2/ 4（木）～5（金）　２日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（信用・共済担当役員など）、信用・共済担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

ＪＡ金融関係者の資質の向上を狙いとするとともにＪＡ金融をめぐる構造的諸問題を解明するため、事例報告や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

【連絡先】〒６０１－８５８５
京都市南区東九条西山王町１　京都ＪＡビル内
一般社団法人農業開発研修センター
ＴＥＬ：075－748－0703　　ＦＡＸ：075－748－0855
Mail　：info@agridtc.or.jp
ＵＲＬ：https://agridtc.or.jp/